

国交省：コスト構造改革プログラム再延長閣議決定**08年度からの5ヵ年最終12年度末で07年度比15%コスト削減**

プログラムではコスト構造を改善するため、計画・設計・施工の見直し、川上段階で民間の新技术 NETIS の積極的な活用、社会的コストの低減、調達の最適化などを盛り込んだ。NETIS の積極的活用に関しては、平成19年9月11日付「新技术の活用事後評価情報チェックリスト」送付通知を徹底するため、平成20年3月31日付けで本省事務連絡が再度各整備局にだされ、「設計業務等共通仕様書第1209条12項を適切に履行すること。」とされた。(原文・添付資料)

LLP 無水掘工法設計比較・検討支援事務所では、公開発注情報を活用して全国無水掘工法協会会員と共に、本格運用ツールの「発注者指定型」を目指し開発者責任のもと新技术活用の適応検討支援をすることで、低コストのロックアンカー・ロックボルト削孔システム「無水掘工法」の活用が進むことが期待される。

ただ、同工法の採用で大幅にコストダウンが可能になると、積算額が減額となり、受注者の利益を圧迫するのではないかと懸念から、普及の足かせになることも想定されるなか、最近では、従来単価とあわせる準備を始めたほうが良いのではと新技术の活用普及に消極的な意見もきかれる。

しかし、2001年に施行された「土砂災害防止法」は、国の知らせる努力と、国民の知る努力により、**33万156箇所**もある急傾斜地崩壊危険箇所から、個人責任で我が身と家族・財産を守らねばならない。

そのような災害大国日本にあって、**全国52万5307土砂災害危険箇所**の防災工事を、『無水掘工法』等民間の新技术活用により事業費削減が出来、削減された予算でさらに多くの防災対策の整備が進み、より多くの国民が安心・安全を実感できるというのが国の考えであります。

大切な税金を有効に生かすために、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

∞∞∞∞∞ 共有施工体制から～ **JOS登録会員受付中** ～元請直接施工体制支援∞∞∞∞∞

土砂災害防止技術：『無水掘工法[®] 副題：ロックアンカー工、ロックボルト工における削孔システム』
『国交省 NETIS 活用評価技術 No.KK-980068V』で施工を行う事により、
社会的コスト、**CO₂ 排出環境負荷低減、コスト削減 34%、工期短縮 32%**を実現し、
安全に・より良く・より安く・より多く土砂災害を未然に防ぎ、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

【編集室より】

バックナンバーもご覧ください。こちら→<http://www.jos-s.co.jp/backnumber.htm>

【お問い合わせ先】 ～記事についてのご意見もお寄せ下さい。～

経済産業省所管：有限責任事業組合
LLP無水掘工法[®]設計比較・検討支援事務所
URL <http://www.jos-s.co.jp>
E-mail nagami-llp@jos-s.co.jp